

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号
豊田南バイパス

令和8年度
全線開通【予定】



令和7年8月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、不確実性の高まる世界経済情勢下において、日本全体の活力を取り戻し、経済社会の力強い成長・発展を実現していく必要があります。このためには、インフラ老朽化を始めとする防災・減災、国土強靱化の取組の切れ目ない推進により国民の不安を取り除くとともに、国内投資を持続的に拡大し、生産性の向上に寄与する戦略的な社会資本整備、DX等の推進など、地方創生の実現に取り組む必要があります。

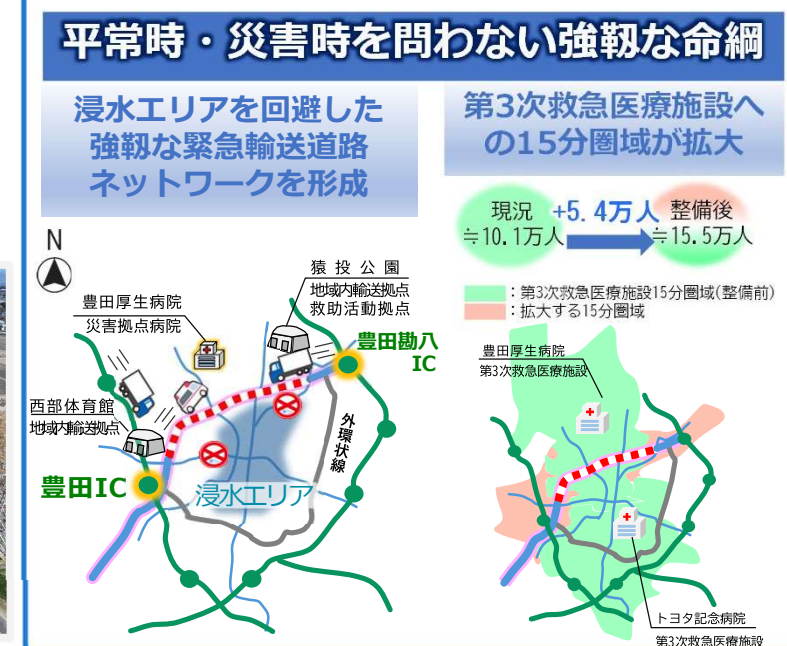
世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靱な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安心・安全な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き強靱で効率的な人流・物流を実現する道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びDX等の推進などの防災・減災、国土強靱化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 国内投資拡大や生産性向上につながる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
特に、国道 155 号豊田南バイパスについては、令和 8 年度の全線開通に向けてより一層推進するとともに、一体的に効果を発揮する国道 153 号豊田北バイパスについても、計画的かつ着実に推進すること
- 2 強靱で効率的な人流・物流を支え、地方創生を実現する幹線道路ネットワークの整備について、特に、国道 153 号伊勢神改良を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 第 1 次国土強靱化実施中期計画に基づく対策を切れ目なく着実に推進するため、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和 8 年度道路関係予算は、資材価格や人件費などの高騰も加味した上で、所要額を満額確保すること**

- 国際競争力強化や国内外の人流・物流を支えるネットワークの形成
- 切迫する巨大災害に対し、強靱な経済社会活動の基盤を形成

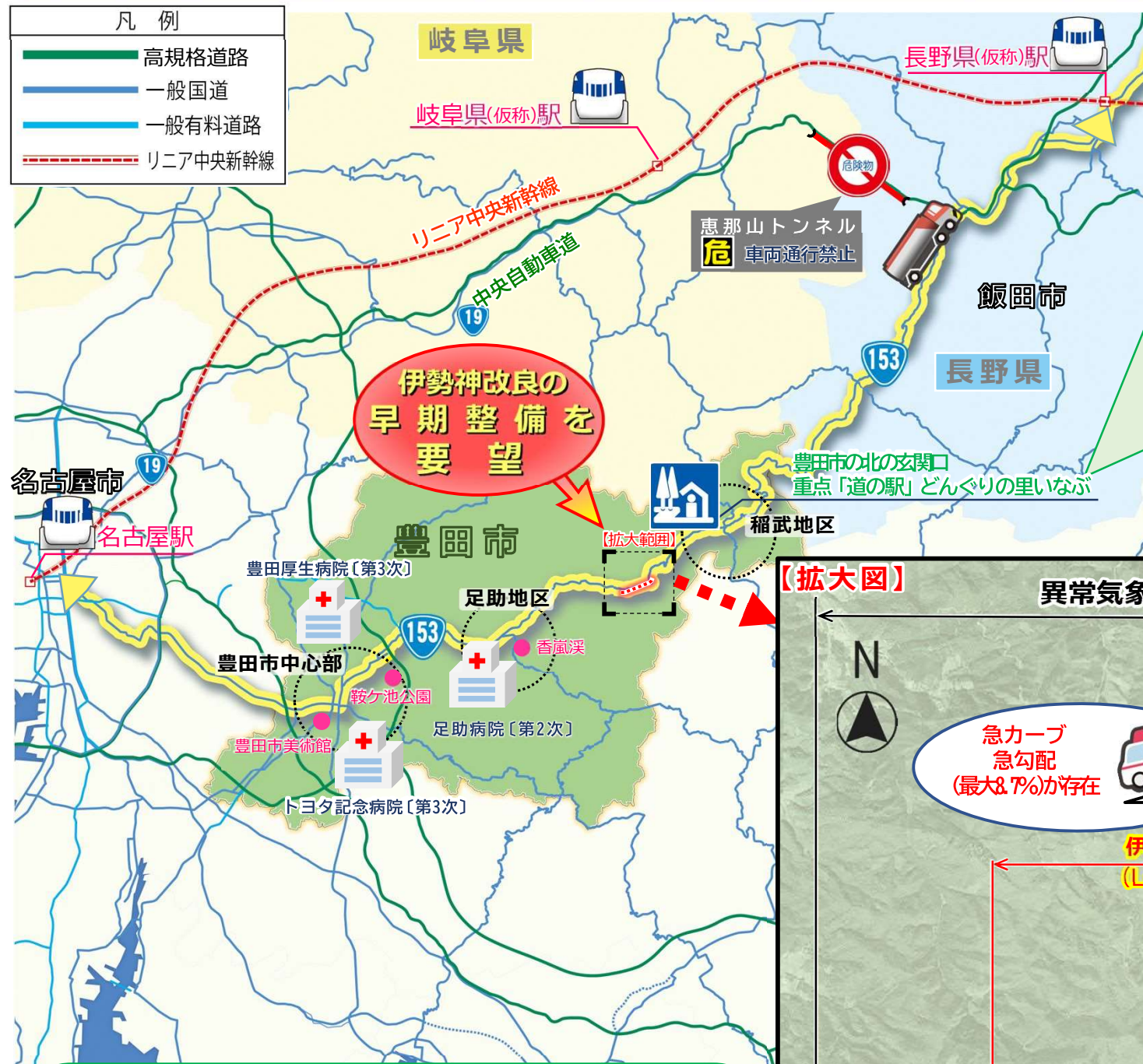




国道153号 伊勢神改良【直轄】

～強靱で効率的な人流・物流を支え、
地方創生を実現する道路ネットワーク整備～

- 人やモノの安心・安全な移動を実現する「命の道」
- 交流のセントラルハブとしてリニア駅を核とした広域観光交流圏を形成



重点「道の駅」 どんぐりの里いなぶ

国土強靱化

重点「道の駅」で災害時に備えた道の駅BCP訓練を実施（地域防災活動拠点）

地方創生

重点「道の駅」をRallyJapan 2024におけるリエゾン応援会場として活用

道の駅を核とした地域力の向上、交流人口拡大【観光客数：約40万人/年】

県内唯一の異常気象時通行規制区間

※1 直轄国道に限る
※2 連続雨量150mm

令和5年6月の豪雨で約10時間に及ぶ通行止めが発生！

管内唯一の高さ制限区間

※1 中部地方整備局管内
※2 H=3.5mを超える車両通行不可

大型車は中央線をはみ出して走行！

広域危険物輸送の唯一のルートを確認

重要物流道路の信頼性や安全性を向上

危険

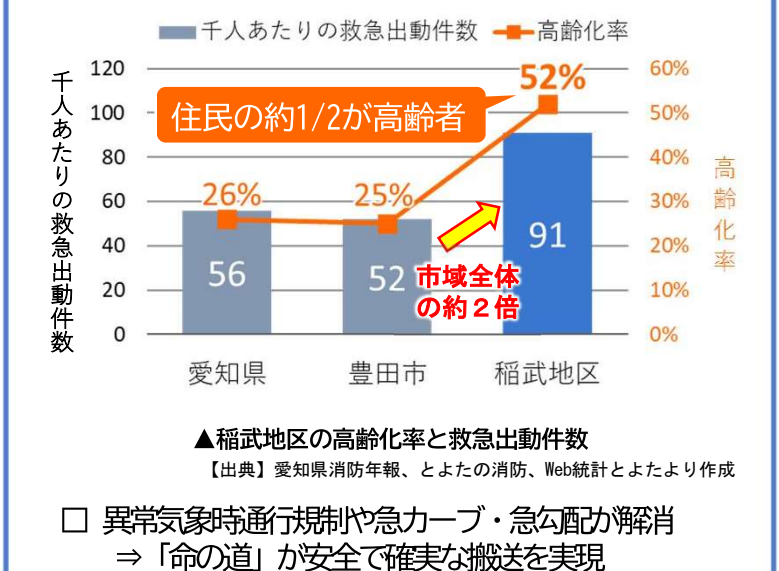
国道153号が唯一のルート！
116台/日（平日）が通行※

※【出典】H22.2名古屋国道事務所調査

安定したエネルギー供給により生産性を向上

『地域住民の命を守る』足助病院への唯一の道

第2次、第3次救急医療施設へのアクセス性向上



国道153号周辺の主要観光地

豊田市博物館（左）
豊田市美術館（右）

豊田市中心部

鞍ヶ池公園

豊田市中心部

香風溪

足助地区

○観光客数：約47万人/年 ○観光客数：約137万人/年 ○観光客数：約62万人/年
観光客数は、R6.1～R6.12実績

【拡大図】異常気象時通行規制区間

通行規制区間に5箇所の要対策箇所が存在
通行規制基準の緩和、解消には、残る2箇所の対策が必要

急カーブ 急勾配（最大8.7%）が存在

伊勢神改良（L=2.4km）

伊勢神トンネル（高さ制限）

要対策箇所

至長野県（仮称）駅

至稲武地区

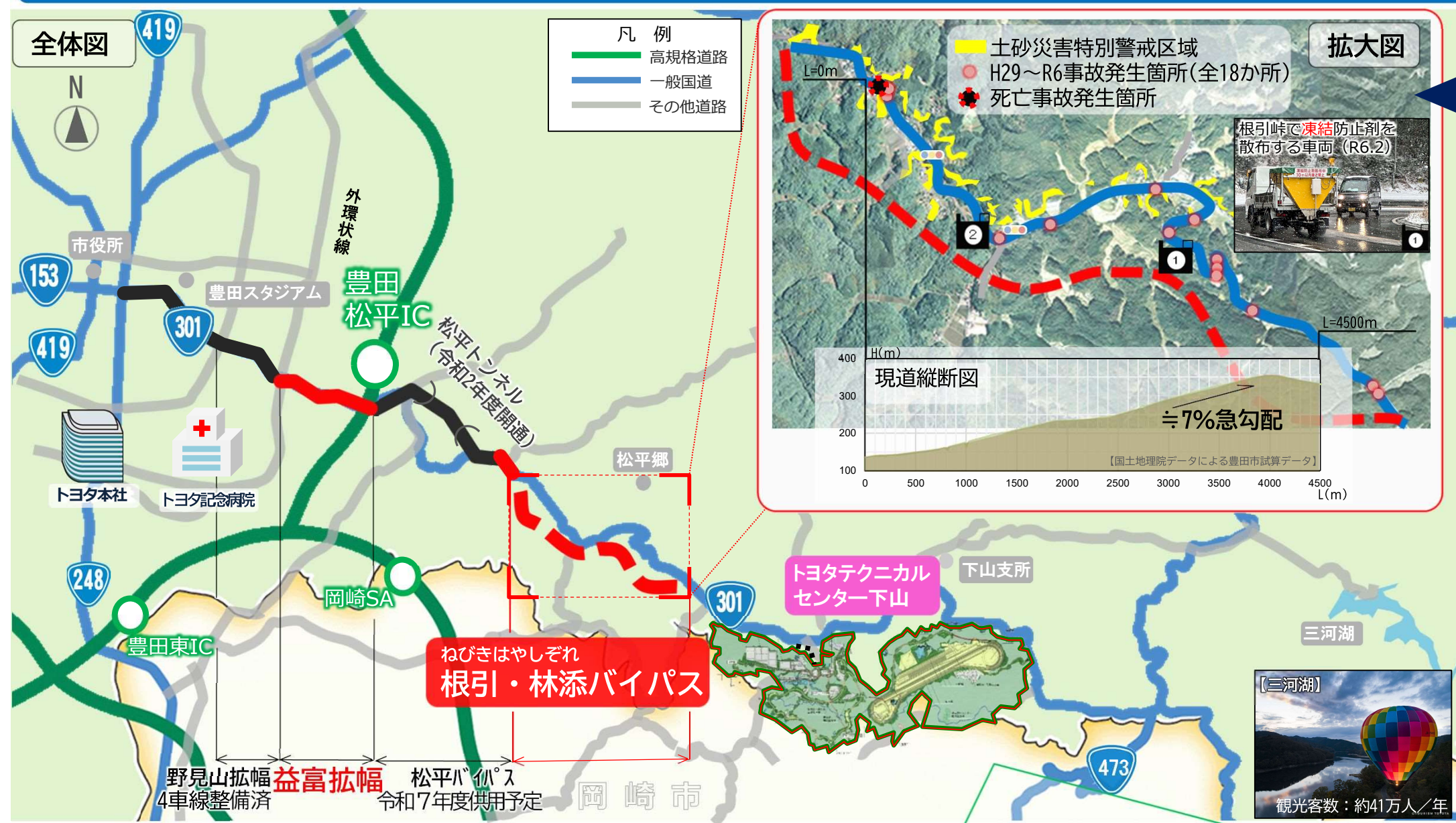
体験会参加者の声

立派なトンネルはまさに「命の道」。地域の発展にも期待が膨らむ。一日も早い開通を！

夏休み親子体験会（見学会）（R6.8）

進捗状況（R7.5.31時点）
掘削：1,522.5m/1,900m（約80%）
覆工：1,114.9m/1,900m（約59%）

- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
- 安心・安全な山村地域の実現に必要な道路ネットワークを形成



連続する道路線形不良箇所

落石崩落箇所や交通事故発生地点が点在

- 第2次緊急輸送道路で、第3次救急医療施設のアクセス路
□令和元年には死亡事故が発生。通学路にも指定



交通渋滞の発生

- 現道は急勾配・急カーブが続き大型車は減速
- 研究開発施設の稼働により、新たな交通需要の発生



山村地域のいのちと生活を守る

強靱な道路環境を実現

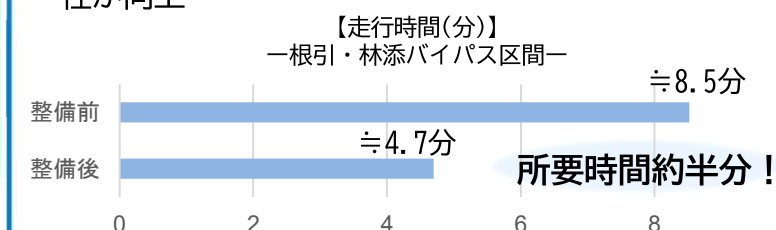
- 緊急輸送道路の**代替性及び信頼性の確保**
- 第3次救急医療施設への**確実な輸送**
- 大型・通勤車両の**転換による交通安全の向上**



産業と観光の成長を支援

研究開発施設及び観光地へのアクセス性向上

- バイパス整備により、所要時間が約半分に
- 豊田松平IC・研究開発施設・観光地などのアクセス性が向上



令和7年4月1日
研究開発施設関連
道路出張所開設

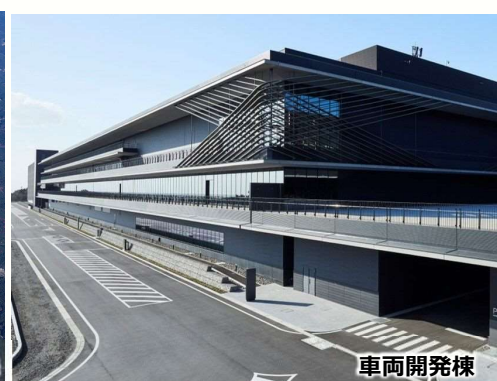


総数17名（豊田市派遣3名）
でアクセス道路整備を加速

「もっといいクルマづくり」の拠点となる研究開発施設「Toyota Technical Center Shimoyama」



令和6年12月10日撮影



車両開発棟

- 
- | | |
|--------------|------------------------|
| □従業員数 | 3千人
(拡大し得る容量3,850人) |
| □本社と下山間の出張者数 | 約22千人/年 |
| □開発車両の輸送 | 30便/日 |

根引・林添バイパスの開通により
フルトレーラー輸送が可能となり輸送効率向上！

アクセス道路整備で「もっといいクルマづくり」をサポート

- 四郷駅周辺土地区画整理事業の完了
- 花本産業団地拡張や民間商業施設オープン

（都）豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】 **～ものづくり産業の基盤を支え
高規格道路へのアクセス性を高める道路整備～**

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靱なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安心・安全な道路交通の実現



周辺幹線道路に交通が集中

県道宮上知立線の慢性的な渋滞

- 国道155号、国道419号、豊田南IC周辺は主要渋滞箇所指定されているほか、県道宮上知立線も慢性的な渋滞が発生
- 渋滞を避けるため、通過交通が生活道路へ流入し、交通安全上危険な状態

県道宮上知立線の慢性的な渋滞
(写真①)



住宅地へ流入する通過交通（写真②）

道路交通の機能分担

ダブルネットワーク化を実現

- 交通事故発生時、災害発生時においても交通を確保し、物流の定時性を確保
- 現道区間の渋滞緩和、交通安全の向上



高規格道路と部品工場及び組立工場を接続

- 自動車産業のサプライチェーンを構築する部品工場集積地と組立工場集積地、高規格道路を接続し、物流の速達性を向上



中田工区 大型車の通行状況 (写真③)

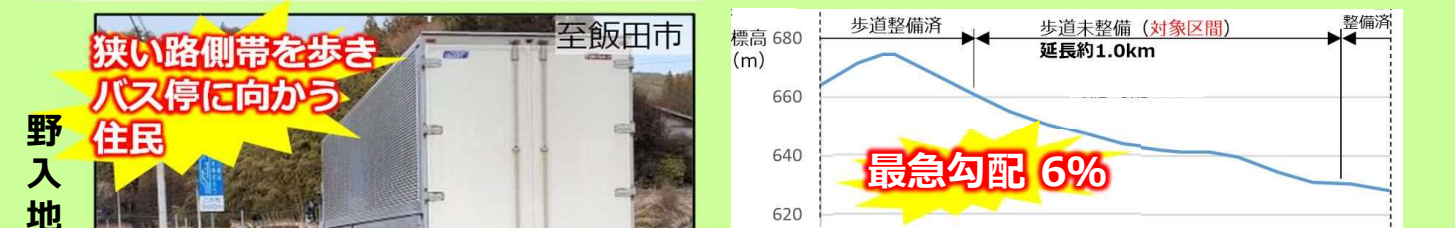
安心・安全な道路空間の構築



国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



Downloaded from <http://ajphaphysocpharm.sagepub.com/> at 11:01 11 November 2014



国道153号 電線共同溝事業 豊田小坂町電線共同溝(直轄事業)



災害に屈しない強靱なまちづくり

持続可能なインフラマネジメント実現のための予算の確保

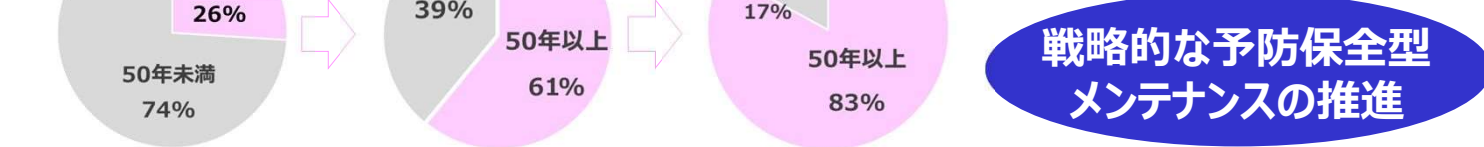
豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長 : 約2,590km **愛知県下 第2位**

橋りょう : 約1,200橋 **愛知県下 第3位**
 横断歩道橋 : 41橋 **愛知県下 第1位**
※名古屋市を除く

2024年3月時点 10年後(2034年) 20年後(2044年)

50年以上 50年未満 50年未満



建設後50年を経過した橋りょう数の推移

デジタル化の推進（新技術の活用による施設の点検・診断）

道路パトロールの高度化・省力化 新技術活用による橋りょう等の点検



災害リスクに強いまちの実現のための予算の確保

事前防災による輸送ルート確保

緊急輸送道路などの重要道路を
跨ぐ橋を重点的に予防保全を実施

緊急輸送道路を跨ぐ市道橋の例

市道宝町竹見栄線

市道西三河自動車検査場線

← 豊田市消防本部

トヨタ記念病院→
(第二救急医療センター)



豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和7年8月7日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長

太 田 稔 彦

豊田市議会議長

北 川 敏 崇

豊田商工会議所会頭

三 宅 英 臣